

■全国のニュータウン・郊外住宅地におけるエリアマネジメントの活動団体リスト(64地区、76団体)

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考										
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等
北海道																
北海道 石狩郡 当別町	スウェーデン ヒルズ	・291世帯 ・740人	スウェーデン ヒルズ建築 協定運営 委員会	〒061-3777 石狩郡当別町 スウェーデンヒルズ ビレッジ2丁目3番2 （事務局）スウェーデンヒ ルズ管理センター内 TEL0133-26-2348	・建築協定を設け、良好な住環境を保全する重要な役割を担い、 より良いまちづくりを展開	住環境の保全								○	「住まいのまちなみコン クール」受賞（H18）	
東北																
岩手県 盛岡市	松園NT	・217ha ・4,250戸（計画） ・10,651人（H12年） ・昭和46年：供給開始	ライフサ ポート・松 園	〒020-0107 盛岡市松園3丁目13-1 生活情報交流センター まつどの内 TEL:019-665-1850 FAX:019-665-1851	・約900世帯の会員を対象に、買い物代行（生活用品の購買、銀行・役所・薬受取等）、家庭保全代行（掃除、庭の手入れ、リフォーム、料理、除雪）、同行サービス（墓掃除、買い物、病院等）、出張サービス（理美容、パソコン指導、留守番等）等の生活者支援を実施 ・地域の内外で活動する民間企業、商店、ボランティア組織、専門家等の協力を得ながら、地域ネットワークの計画やNPO法人としての組織化を検討中。	・高齢化の進行									○	<資金> ・サービス利用料 <実績> ・依頼：約1,000件/年
			松園ニュー タウン・二 地域居住等 推進研究会	〒020-0871 盛岡市中ノ橋通1-4-22 中ノ橋106ビル8F ㈱アスク内 浅井 美亜子 TEL:019-651-1433 FAX:019-623-1634 miako@ask1986.jp http://matsuzono.i- morioka.net/	・空き家を活用した二地域居住 ・公有地の暫定利用によるコミュニティ農園 ・無料なんでも相談会	・高齢化の進行 ・空き地、空き 家の増加										○
宮城県 仙台市	鶴ヶ谷団 地	178.0ha（1～8丁目） 5,690戸（H26.4.1現在） 11,800人（H26.4.1現在） 昭和46年	つるがや元 気会	〒983-0824 仙台市宮城野区鶴ヶ谷1- 30-5 つるがや元気会 会長 菅原 敏之 TEL:022-251-2932 atoshisugab@yahoo.co.jp http://genkikai.da-te.jp/	1) サロン憩いの場「ほっとカフェつるがや」を開店、会話団樂をし、「張り合い」のきっかけ作り。コーヒーお茶類提供。 <毎週土曜日> 2) 健康講座、市民講座、爆笑講座等 <12回/年> 3) 「童謡を唄う会」を開催 <毎月第一火曜日> 4) 「第五回つるがや元気まつり」を開催 <10/5> 二つの幼稚園、二つの小学校、二つの児童館、鶴ヶ谷中、仙台三高の児童生徒の他、町内の団体併せ17団体による演技を、又会員等による7つの縁日、5店舗の露店、オープン病院協力による「骨密度の無料測定」菅原動物病院協力による「パンダ剥製との触れ合い展示」餅つき大会を開催 5) ロコモ体操(ロコモを防ぐ運動)の教室 <毎月第三水曜日> 東北福祉大学予防福祉健康推進室協力	・高齢化の進行 ・交流機会の不足	○	○	○	○	○	○	○		<資金> 年会費1,000 円 会員290名(26.7.1現在)  <実績> ・健康講座 12回/年開催 60～110 名参加 ・童謡を唄う会 毎月開催 80名前後参加 ・サロン「ほっとカフェ つるがや」(会費100 円) 毎週開催 20～30名参加 ・ロコモ体操教室(会費 200円) 毎月開催 50名参加 ・つるがや元気まつり 10月開催 2800名参加 ・仙台市みやぎの区民活 動賞受賞26.7.29	

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考													
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みのきっかけとなった課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等			
福島県 福島市	蓬萊団地	<第一期> ・151.4ha ・3,232戸 ・12,000人(以上計画) ・昭和59年：事業終了 <第二期> ・73.6ha ・862戸 ・3,100人(以上計画) ・平成8年：事業終了	NPO法人循環型社会推進センター	〒960-8061 福島市五月町4番25号 福島県建設センター6階 TEL:024-524-2500 FAX:024-524-2450 <a href="http://www15.ocn.ne.jp/~junkan/">http://www15.ocn.ne.jp/~junkan/</a>	・住まいの相談会を実施。 ・空き家の管理、庭木の手入れ、耐震調査、耐震補強工事等の対応 ・団地内の戸建住宅1戸を賃借し、地域密着型の高齢者向けサービス施設(宅老所)を運営 ・空き家を借り受け、小規模多機能ハウスを運営 ・市中心部と蓬萊地区間の住替え促進(二地域居住の推進) ・蓬萊地区周辺の休耕地を利用し、畑を所有する農家と連携した家庭菜園の整備	・高齢化の進行 ・少子化の進行 ・空き地、空き家の増加 ・センター施設の衰退		○	○							○	<資金> ・サービス利用料		
福島県 伊達市	諏訪野	・12.6ha ・236戸(未建築52戸) ・940人(調査人員) ・平成7年11月	団地管理組合法人諏訪野会	〒960-0446 伊達市諏訪野2丁目2-1 諏訪野会理事長長谷川征克 TEL:024-584-3655 <a href="http://www.suwanokai.ne.jp/">http://www.suwanokai.ne.jp/</a>	・建築協定及緑化景観協定の運営 ・団地内公園、コモン、フォルト、エントランス等共有領域樹木の維持管理(団地内緑化保全) ・団地内道路、コモン、公園を月1回会員全員で清掃、ゴミ出しルール運用管理(集積場所の管理)等生活環境保全 ・安全防災活動(普通救命講習会、AED取扱講習会、定期的に家族調査実施防災計画に活用、炊出し訓練イモ煮会開催) ・会員向け情報紙の発行、ホームページ試験的運用 ・会員高齢者組織支援 ・各種サークル組織支援(ママさんバレー、ソフトボール等) ・子ども会支援 ・各種イベント開催(納涼祭、蕎麦打ち講習会等) ・団地内町内会組織と諏訪野会との一体運営 ・近隣町内会との連携(消防団、祭礼、地域統一行事等) ・団地内居住人口増に対応する為、1丁目～3丁目各町内会を設置すると共に町内会を統括する組織体「諏訪野自治会」を創設した。従来の法人格を持つ「諏訪野会」はそのまま残したが、その所掌範囲は「基金及資産管理」に限定したものにした。	・高齢化問題 ・共働世帯増加 ・学童児童幼児の増加 ・行政との関係 ・会活動活性化 ・共有施設補修		○							○	・諏訪野会管理基金(共有施設維持管理修繕費用) ・例月管理費及町内会費 「住まいのまちなみコンクール」受賞(H19)			
関東																			
埼玉県 白岡市	白岡NT	・50ha ・1,400世帯	白岡ニュータウン自治会	〒349-0212 埼玉県南埼玉郡白岡市新白岡2丁目17-14 TEL:0480-93-5133 FAX:0480-93-5133	・自治会内に「緑化規約」のルールを設け、遵守を徹底。 ・年2回幹線道路・公園の清掃実施。年末2回落葉清掃実施。 ・環境維持・景観形成に向け、自治会内の幹線道路の清掃や植栽の維持管理、植栽帯の管理を実施。また、個人宅の庭・生け垣の消毒を実施。 ・全員参加型防災訓練 ・月1回防犯パトロール実施 ・歳末パトロール3日間実施	・住環境の保全 ・緑の管理負担の増大 ・防犯上の問題の顕在化										○	○	○	<資金> ・会費 ・助成金 ・利用料
			こしがや・四季の路管理組合	〒343-0035 越谷市大道248-16 理事長 若林 則男 TEL:048-977-6776 <a href="http://www.koshigaya-shikinomichi.net/index.php">http://www.koshigaya-shikinomichi.net/index.php</a>	・月1回の道路、水路、公園等清掃活動を実施 ・越谷市から資材提供を受け道路の補修工事を実施 ・ピオトープ委員会による泉や水路の保全活動 ・懇親会(芋煮会、バーベキューパーティ)の開催 ・文化活動として団地内の風景を描いた水彩画や、団地内に咲く花を生けた絵はがきや、団地内の風景写真によるカレンダー制作 ・団地内の樹木名板の設置 ・緑のワークショップ開催し、緑の長期管理計画を策定 ・ホームページの立ち上げ運営 ・屋敷林の保存に関する署名活動	・住民の交流 ・共有施設の維持管理											○	<資金> ・管理組合費(月額7000円) <実績> ・2009年度彩の国景観賞心になるおい部門受賞 ・2009年度住まいのまちなみコンクールにて国土交通大臣賞受賞	
			こしがや・四季の路建築協定運営委員会	〒343-0035 越谷市大道248-21 委員長 山根 寛 TEL:048-977-6238 riji-2@koshigaya-shikinomichi.net	・管理組合と連携し、建築協定の運営を行い、将来は景観法の景観協定により、デザインや色彩のルールづくりを目指す。	・建築協定の更新											○	<資金> ・管理組合による援助 <活動> ・建築協定の更新 ・建築協定運営細則の策定	

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考											
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等	
埼玉県 越谷市	こしがや ・四季の 路	・約0.6ha ・21戸（H22年） ・59人（H22年） ・1989年1月	越谷市街づくり協議会	<p>【越谷市街づくり協議会】 〒343-0817 越谷市中町7-17越谷市商工会内 会長 若色 欣爾 TEL:048-966-8015 wakairo@dream.com http://kyoutyoukai.bakufu.org/</p> <p>【越谷市住まい・まちづくり協議会】 〒343-0806 越谷市宮本町2-185-12 委員長 若色 欣爾 TEL:048-965-5358 メール： wakairo@dream.com HP：http://www.koshi-machi.com/</p>	<p>・越谷市で住宅産業に係わる事業者を中心とした任意団体で、市と官民協調した街づくりを推進している。</p> <p>・平成20年度「200年住まい・まちづくり担い手事業」の支援対象団体となり、こしがや・四季の路の建築協定及び越谷市公共施設等維持管理協定の更新に関する支援を行う。</p> <p>・平成21年度「住まい・まちづくり担い手事業」の支援対象団体となり、管理組合や建築協定運営委員会の活動支援を行う。</p> <p>・平成24年6月に越谷市街づくり協議会を母体として、NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンターを設立し、越谷市街づくり協議会から業務を引き継ぐ。同時に越谷市、公益法人 埼玉県宅地建物取引業協会越谷支部、日本大学（理工学部根上研究室）、社団法人 埼玉県建築士事務所協会越谷中央支部、社会福祉法人 寛友会 ケアハウス・コスモ越谷、NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター（協議会事務局担当）の6団体で越谷市住まい・まちづくり協議会を設置して幅広い活動を展開している。</p>	・建築協定の更新									○		<p>&lt;資金&gt; ・会費 ・補助金（住まい・まちづくり担い手事業）</p> <p>&lt;活動&gt; ・越谷市建築協定フォーラムの設置 ・越谷市建築協定ガイドブックの製作</p>
			越谷市役所	<p>〒343-8501 越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 担当課 建設部道路総務課 TEL:048-963-9201 http://www2.city.koshigaya.saitama.jp/index.html</p>	<p>・通常の公共施設の維持管理より高度なものについて、住民が主体的に取り組んでいる活動を行政が支援している。</p> <p>・1998年6月開発事業者と越谷市公共施設等維持管理協定締結し、団地内の道路公園等を管理組合による自主管理とした。</p> <p>・1991年7月越谷市と管理組合との管理区分を定めたものに更新し、通常の公共施設の維持管理は市で行うが、高度なものは支援することとした。</p> <p>・2009年5月建築協定更新に伴い大幅に見直し、管理区分表や樹木位置図を作成し、期間も自動更新とした。</p> <p>・越谷市の窓口は道路総務課、公園緑地課、治水課、市街地整備課、建築住宅課、都市計画等広範囲に渡るが、取り纏めを行う必要があるため、建設部道路総務課が担当窓口となっている。</p>	<p>・団地内の道路を開発により市に帰属したが、ボンエルフ道路や小川があるため、3年間は自主管理とし、管理ノウハウを培った。</p>									○		<p>&lt;活動&gt; ・公園の泉が団地内のめぐり循環しているので、水道水を補給している。</p> <p>・ビオトープ委員会の活動にカキツバタ等の水性植物の苗を提供。</p> <p>・団地内の屋敷林を保存するため、市施工の区画整理事業による街路計画を変更。</p> <p>・ボンエルフ道路の舗装材である洗い出しブロックの支給。</p>
千葉県 千葉市	海浜NT	・1,000ha ・昭和57年：入居開始	NPO法人ちば地域再生リサーチ	<p>〒261-0004 千葉市美浜区高洲2-3-14 TEL:043-245-1208 ask@cr3.jp http://cr3.jp</p>	<p>・海浜NT内のSCに3ヶ所の拠点を設置し、買物品の宅配、リフォームなどの暮らしと住まいのサポート、空家や中古住宅の流通促進、コミュニティ活動の支援、アートを核とした地域文化の創造等を実施</p>	<p>・人口の減少 ・高齢化の進行 ・空き家、空き店舗の増加</p>	○	○	○	○	○					<p>&lt;資金&gt; ・サービス利用料 ・受託業務 ・各種補助金等</p> <p>&lt;実績&gt; ・買物ビジネス利用者数：6・7人/日</p>	
千葉県 千葉市	磯辺地区	・約228ha ・約7,000戸 ・約18,500人 ・昭和51年	磯辺街づくり研究会	<p>〒261-0012 千葉市美浜区磯辺4-23-9 橘気付（書記局） lsobe-com@support.email.ne.jp http://www.mmjp.or.jp/isobe-com/</p>	<p>・磯辺地区全域の福祉健康、教育、環境安全、地区施設等を総合的に見直し、中層集合住宅団地、戸建の建替、公有未利用地の活用などを研究し、提案。</p> <p>・磯辺地区/街づくり構想を作成</p> <p>・磯辺福祉協力員ネットワークの創設</p> <p>・磯辺まちづくり通信の発行</p>	<p>・地区内の学校統合 ・県・市有地の宅地化分譲 ・少子高齢化</p>									○	<p>&lt;資金&gt; ・助成金</p>	

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考								活動資金の確保方策、活動実績等	
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みのきっかけとなった課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全		防犯
千葉県佐倉市	ユーカーリが丘	・17,520人 ・6,884世帯 (以上H26年3月) ・昭和46年：事業着手	山万株式会社 ユーカーリが丘支店	〒285-0859 千葉県佐倉市南ユーカーリが丘1番地1 黒川・街づくり推進室 TEL:043-487-6381 FAX:043-487-8116 kurokawa@yamaman.co.jp http://www.yukarigaoka.jp/	・デベロッパーが、建売分譲を含めた宅地の供給を年間200戸程度に抑え、団地人口のコントロールを行い、サステイナブル・コミュニティを目指した「街の成長管理」を実践 ・併せて、福祉のまちづくりをコンセプトに、介護老人保健施設やグループホームの整備、学童保育施設の併設など、「幼老統合ケア」に取り組む	・高齢化の進行 ・少子化の進行 ・再生主体の不在		○						○	
千葉県市原市	青葉台	—	青葉台コミュニティバス運営協議会	http://www.aobus.com/	・公共交通の空白地域（起伏有り）の通勤・通学及び買い物等の足確保の為、地域3町会が主体となってコミュニティバス「あおばす」を運行。 JR駅～地域間を平日43便（6:05始発、23:15終発）、土曜日30便（7:05～20:00）運行。 朝夕及び夜間はJR駅～地域間の直行便（片道10分）、昼間はJR駅～地域内及び周辺商店街～大学病院医療センターの循環便（片道20分）	・将来の高齢化・少子化による公共交通機関の重要性増大、バリアフリーへの対応		○		○				○	<実績> ・平均利用者数 平日：85千人(355人/日) 土曜：7千人(138人/日) (H25年度実績)
千葉県浦安市	浦安市全域	・17.29km <sup>2</sup> ・164,531人	海・まち・デザイン	滝井 健次 事務局長 TEL: 047-355-7166 FAX: 047-355-7166 umimachidesign@yahoo.co.jp http://www27.atwiki.jp/umimachidesign/	・市内の埋立地で未開発地区の全体都市計画（ランドデザイン）立案 ・まちづくりに関わる行政や自治会との連携 ・まちづくり啓蒙、PRのためのイベントやフォーラムの企画開催 (例)市内を流れる境川でのボート乗船体験やイベントを通じた、市民交流と自然環境の保全のPR など	・行政による土地用途の見直し								○	<資金> ・会費 ・イベントの参加費や収益 ・各種補助金 ・寄付金
千葉県浦安市	マリナイースト21 碧浜	・約4.9ha ・187戸 ・約650人 ・2002年：開発時期	碧浜自治会 碧浜建築緑地協定運営委員会	〒279-0013 千葉県浦安市日の出2丁目 自治会集会所 自治会長 建築協定運営委員長 緑地協定運営委員長	・自治会と協業で建築協定、緑地協定である街並み協定の運営を行い、協定遵守状況のチェックや清掃等を通じた街並みの美化活動 ・防災委員会を中心に防災計画を立案し、全住民による防災訓練活動	・住環境の保全							○	<資金> ・年会費： 自治会費 (3000円) 協定運営委員会 (500円) ・H20～H22年度住いのまちなみ賞：調査検討費 ・H20～H24年度ミサワホーム：碧浜緑化支援金 「住まいのまちなみコンクール」受賞（H20）	

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考														
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等				
千葉県 我孫子市	布佐平和 台住宅地	・56.7ha ・1,395戸 ・3,743人(H23年) ・昭和51年：分譲開始 ・昭和54年 ：自治会発足	布佐平和台 自治会	〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台 6-5-17 布佐平和台自治会館 TEL・FAX: 04-7189-1933 fusaheiwadaijchikai@ia7.itke eper.ne.jp	・すぎのこ子供会 ・建築協定の運営・維持活動で街並みを守る ・悠々（シルバー）クラブ ・囲碁、将棋、ゴルフクラブで親睦を深める ・ふれあい福祉くらぶでの活動 ・交流会（2丁目から7丁目まで）での防犯活動、助け合い活 動、親睦活動など ・FH未来プロジェクト（問題を長期的に考える）	・建築協定の 更新 ・住民の助け 合い、親睦、 防犯活動など	○	○	○	○							○	○	<資金> ・自治会費 <実績> ・千葉県知事感謝状(H4) ・建設大臣感謝状(H5) ・第1回我孫子市景観賞 (H10) ・地縁団体認可(H12) ・自治会館地域防犯情報 センターに指定(H16) ・建築協定・緑地協定の 完全更新(~H17) ・関東管区警察局長より 特別功労賞(H18) ・住まいのまちなみコン クール受賞(H19) ・功労ボランティア団体 (社会安全貢献賞) (H26) (公益財団法人全国防犯 協会連合会・検察庁)	
東京都 多摩市・ 八王子 市・稲城 市・町田 市	多摩NT	・約3,000ha ・244,246人(H17年) ・96,623世帯(H17年) ・昭和46年：入居開始	NPO法人多 摩ニュータ ウン・まち づくり専門 家会議	〒206-0024 多摩市諏訪5-6-3-102 松原和男 事務局長 TEL: 080-4095-9640 FAX: 042-337-5599 info@machisen.net http://www.machisen.net/	・まちづくりに関する、「普及・啓発」「調査・研究」「提案・ 提言」「計画策定」「ビジョン・ガイドラインづくり」「整備・ 建設」「維持管理・運営」「相談・コンサルティング」「情報提 供」	・就業・住宅環 境等の問題 ・高齢化の進行		○	○	○									<資金> ・会費 ・助成金 ・利用料	
			多摩マン ション管理 組合連絡会	〒206-0034 多摩市鶴牧5-37-6-301 多摩マンション管理組合連 絡会	・組合間の情報および資料の交換、相互支援 ・交流会、相談会、セミナー、見学会等の開催 ・会報の発行、ホームページによる情報発信 ・新任理事のための勉強会開催 など	・管理組合の活 動活性化、情 報・経験の共有 と、相互支援。													○	<資金> ・会費： 個人(2,400円/年) 組合(18,000円/年)
東京都 武蔵村山 市	都営村山 団地	—	武蔵村山市 商工会(まい ど〜宅配セ ンター お かねづかス テーション)	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町 2-5-1	・高齢者や買物に支障がある方への宅配サービス	・高齢化の進行		○											<資金> ・市の補助金	
	埴の丘住 宅団地	・7,205㎡ ・39戸 ・92人 ・昭和56(1981)年12 月	埴の丘住宅 団地管理組 合法人	〒194-0031 町田市南大谷521-12-2 管理組合総務担当 鈴木 信夫 TEL:042-729-2530 FAX:042-729-2530 abcsuzu@nn.ij4u.or.jp	・良好な居住環境を維持するための緑化を中心とする管理 ・隣接市立公園の空地を利用した環境美化と住民交流 ・落ち葉を利用した腐葉土作り（公園内） ・同公園沿いの街灯の新設 ・「ふれあいサロン」の開設、運営	・住環境の保全 ・地域安全の確 保 ・住民のための 公園利用 ・高齢化対応		○	○									○	○	<資金> ・管理組合費 ・市からの助成金（H22 年度） ・居住者有志の寄付金 「住まいのまちなみコン クール」受賞（H17） ・みどり100選入選 （（財）都市緑化基金） （H22）

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	取組みの きっかけとなっ た課題	備考								活動資金の確保方策、活 動実績等			
	NT・ 団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先			人口減少	少子・高 齢化	空地・空 家	交流機 会	交通問 題	生活支 援	住環境 保全	防犯		その他		
東京都 町田市	三輪緑山 住宅	・71.3ha ・1,122戸(戸建て) ・集合住宅12棟などを 含めて1,821所帯 ・4,638人 ・昭和60年(1985年) ：第1期入居開始	三輪緑山管 理組合	TEL:044-987-0831 FAX:044-299-9871 mkanrikumiai@fork.ocn.ne.jp	・住宅地の開発当初から良好な街なみ形成のために、アンテナが 林立しないようTV共視聴施設、統一感と緑化を目的としたサツキ の植え込み・グリーンベルトが設置され、その維持管理を主たる 業務として管理組合が設立された。主要な活動内容は以下の3点 である。 ○TV共視聴施設の維持管理 ○植え込み・グリーンベルトの維持管理 ○住宅地として良好な環境の形成と保全 なお、平成18年度の第2回住まいのまちなみコンクールにおいて 国土交通大臣賞を受賞した。	・良好な街なみ 形成のために設 置したTV共視 聴施設と植え込 み・グリーンベ ルトの維持管理									○	○	<資金> 戸建住宅所有者は全て組 合員となっており、年間 12,000円の管理費を納入 している。  <実績> 「住まいのまちなみコン クール」受賞(H18) 「町田市景観賞」受賞 (H26)	
横浜市 戸塚区	たかの台 住宅	・昭和43年：開発時期	ラプリー・ なせ事務局 戸塚区地域 通賃研究会	〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町157-3 TEL:045-812-6912 箱石 学	・地域通貨「ラプリーなせ」の運用。交換するサービスは、植木 剪定、刃物研ぎ、送迎、ペンキ塗り、パッキン交換、鍵取りつ け、表札の墨入れ等	・生活支援サー ビスの不足 ・交流機会の不 足												
	ドリーム ハイツ	・2,270戸23棟(H22 年11月) ・5,149人(H12-H22 の10年間で約1000人 減、主に第2世代の巣 立ちによる) ・昭和47年：入居開始  平成24年 横浜市立深 谷台小学校区域内で活 動中の諸団体に発展的 拡大	深谷台地域 運営協議会	〒245-0067 横浜市戸塚区深谷町1312 深谷台小学校内 地域交流 室 永田 伸夫 代表 TEL:045-392-5735 FAX:045-392-5736 dh- chiikikoryu@rose.plala.or.jp 深谷台地域運営協議会の ポータルサイト 【ドリーム燦燦】開設： http://www.drsansan.jp/	平成24年： 活動領域をドリームハイツ地域からを横浜市立深谷 台小学校区域へと発展的に拡大。名称も変更 ・ドリームハイツの2自治会、近隣自治会(1)、高齢福祉・子 育て・まちづくり等の4NPO、6任意団体、深谷台小学校、同 PTA、戸塚区役所など16の関係団体が参加して地域の諸問題を共 有すべく毎月協議会を開催している。 ・見守りネットセンターの設置(電中研方式の見守りシステム の実証実験中:電気の使用量の変化から生活状態を推測する)⇒ スマートメータ利用の孤立死防止システムの検討開始 ・ドリームハイツ地域は平成27年に65歳以上の高齢化率が50% (平成37年には後期高齢化率が50%)の超高齢化コミュニティ となることが予測されている。 現在の活性化された状態を如何に継続・発展させるかが最大の 課題。 ・団塊の世代のリタイヤが完了しつつある。彼等をいかに地域の 戦力にするかが課題。 ・深谷台小学校学童のための宿題を共に考える【アフタースクール】開校H22。平成25年度：参加学童延べ3,204名、10ヶ月間 で63回スクール開催(週2回)。	・高齢化の進行 ・少子化の進行 *2007年住民 アンケートで 95%の回答を得 た。その結果を 受けて少子高齢 化の諸課題に取り 組むことにな った。	○	○									<資金> ・行政の補助金 ・3自治会の補助金 <場所> 学校のプレハブ空き教室 の一部を利用して【地域 交流室】を開設し活動拠 点としている。	
横浜市 旭区	左近山団 地	・約5,500戸 (近隣団地を含む) ・約10,000人 ・昭和43年：入居開始	地域ビズ左 近山 あんさんぶ る	〒241-0831 横浜市旭区左近山1186-6 左近山団地7-10-104 地域ビズ左近山 中村 和彦 TEL:045-352-0191 FAX:045-349-8919 ansan_b@yahoo.co.jp	・空き店舗を活用した「コミュニティカフェあんさんぶる」の開 設 ・カフェ、小箱ショップ、飲食の提供。 ・手作り品の販売代行。 ・情報紙の発行 ・パソコン、書道教室、カラオケタイム、憩いの時間空間を提 供。 ・ライブコンサート。 ・建築士による家具転倒防止工事。	・高齢化の進行 ・空き店舗の増 加 ・交流機会の不 足											○	<資金> ・利用料 ・飲食代金 ・委託料

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考								活動資金の確保方策、活動実績等		
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みのきっかけとなった課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全		防犯	その他
横浜市 旭区	若葉台団地	・約90ha（横浜球場約45個分の面積に相当） ・約6,600戸（14階建を中心とした75棟の中高層集合住宅） ・約16,100人（H22年7月末現在） ・S54年（1979年）第1期入居開始で今年で入居31年目	若葉台連合自治会	〒241-0801 横浜市旭区若葉台3-2 若葉台連合自治会館 TEL:045-922-5505 FAX:045-922-5505 山岸弘樹 連合自治会長 TEL:045-921-9704 yamagishihiro@pep.ne.jp （連絡はE-メール希望）	<p>&lt;若葉台のまちづくりの組織&gt;</p> <p>まちづくりの主体は、①若葉台連合自治会（10の単位自治会で構成）であるが、②福祉関係は、若葉台地区社会福祉協議会、③スポーツ・文化関係は、NPO法人「若葉台スポーツ・文化クラブ」、④夏まつり他各種まつりの遂行は若葉台まつりの会がと、連携の上で、夫々分担し、まちづくりに取り組んでいる。そのため、連合自治会が、まちの顔として、行政他、対外組織や事業体との折衝、対応や、まちづくりにつき広く、中長期的な検討にも、まだ十分ではないものの注力できる</p> <p>&lt;若葉台の主な課題と地域の取組状況、近年の主な実績&gt;</p> <p>（少子・高齢化対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若葉台地区の小・中学校5校が再編統合され、若葉台小、若葉台中がH19年4月に開校（小中同時の学校再編統合は横浜で初、地域が中心となり活動した再編検討委員会から意見書に従う）</li> <li>・その後の跡地活用検討につき、同様に編成した委員会で検討の結果、3校の跡地活用用途がH22年9月都市計画の変更が認可され決定した</li> <li>・地域支えあい連絡会第2次地域福祉計画策定中</li> <li>・子育て支援グループ活動支援</li> <li>・学童保育所支援</li> <li>・「高齢者を地域全体で支える体制作り」「障害者の居場所づくり」「中高生の場所づくり」検討中</li> <li>・高齢者や定年後の住民の地域活動への勧誘（随時進行中）</li> </ul> <p>（安全・防犯・防災対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の見守りによる学童の登下校安全確保</li> <li>・各単位自治会&amp;管理組合による夜間パトロールによる安全確保</li> <li>・地域全棟のエレベーター内への監視カメラ設置完了</li> </ul> <p>（まちの魅力創造・ふるさとづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3～4万人が参加する「若葉台夏まつり」の開催など、年間を通した各種行事催しの開催</li> </ul> <p>（地域の新たな環境への取組）</p> <p>環境に配慮され建設された緑の多い団地で三保および新治の2つの市民の森に隣接し、住民の環境維持に関する関心が極めて高い地域に対し、横浜市環境創造局からの環境教育アクションプラン・ハイロト事業への協働事業への誘いがあり、H19年から、「みどり・みず・みち 自然への恩返し」プロジェクトがスタートした。連合自治会、商店会、小中学校、市環境創造局が協働で活動し、3年を経過した、H22年6月に横浜市環境活動賞実践賞を授与された。</p>	・少子高齢化 ・地区内の小中学校の統合と跡地活用 ・子どもたちのふるさとづくり ・環境活動の推進	○	○								<p>&lt;結成&gt;</p> <p>S60年（1985年）でH22年は結成25周年の節目の年</p> <p>&lt;資金&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単位自治会からの会費</li> <li>・賛助会費</li> <li>・行政からの各種助成金</li> <li>・月刊広報紙の発行は主として広告料による</li> </ul> <p>&lt;活動内容&gt;</p> <p>連合自治会の広報紙「みんなの若葉台」のPDFを以下のホームページ「若葉台ネット」で公開しております <a href="http://www.ywakabadaine.com/">http://www.ywakabadaine.com/</a></p>
	湘南桂台	・約65ha ・1,545世帯（1,633区画） ・昭和50年：分譲開始	グループ桂台	〒247-0034 横浜市栄区桂台中15-3 湘南桂台自治会事務所内 <a href="http://www.katuradai.com/katsuradai.html">http://www.katuradai.com/katsuradai.html</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家事支援（調理、掃除、草取りなど）。介助活動。</li> <li>・子育て支援（乳幼児保育）</li> <li>・福祉・健康講座や団塊の世代に向けた連続講座の開催</li> <li>・高齢者に関わらずふらっと立ち寄ることが場作りの第1段階としてサロン「ふらっとオアシス」を開設（毎月実施）。今後数か所のサロンの開催を予定。</li> </ul>	・高齢化の進行 ・少子化の進行 ・活動拠点の不足		○						<p>&lt;発足&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1997年9月設立</li> </ul> <p>&lt;実績&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶらっとオアシス：70回</li> <li>・毎回の出席者：約50名</li> <li>・シニアのための連続講座実施（6回シリーズ）</li> <li>・高齢者のための福祉施設案内（第1巻、第2巻）発刊</li> </ul> <p>&lt;資金&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さかえふれあい助成金、神奈川県共同募金会補助金、自治会資料作成等の請負事業、バザー他</li> </ul>		

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	取組みの きっかけとなっ た課題	備考								活動資金の確保方策、活 動実績等		
	N T・ 団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先			人口減 少	少 子・ 高 齢 化	空 地・ 空 家	交 流 機 会	交 通 問 題	生 活 支 援	住 環 境 保 全	防 犯		そ の 他	
横浜市 栄区	公田町団 地	・9.4ha ・1,160戸 ・2,000人(推定) ・昭和39年4月～7月 ：完成時期	NPO法人 お互いさま ねっとと公田 町団地	〒247-0014 横浜市栄区公田町740 NPO 法人お互いさま ねっとと公田町団地 「いこい」内 T E L 045-392-7556 F A X 045-896-2816	・公田町周辺地域の各種機関やさまざまな個人・法人と連携をは かりながら、住民参加と助け合いの精神のもとに、高齢者等の孤 立予防・孤独死予防を考慮した生活支援や地域に根ざした子ども の健全育成を図る事業を行い、地域の活性化と住民が安心して生 活が出来るようなまちづくり。	栄区孤独死モデ ル事業 「公田町団地見 守りねっと」 高齢者等の孤立 予防・孤独死予 防		○								○	<資金> ・会費 ・行政助成金 <事業収入> ・生活支援 ・軽食 ・サロン <不動産賃貸事業> ・多目的フロア・調理室 の貸館
	飯島団地	・10ha ・1,150世帯 ・2,500人 ・昭和43年：入居開始	飯島団地 いきいき ネットワー ク連絡会	〒244-0842 横浜市栄区飯島町527 飯島団地自治会センター TEL:045-864-9505 FAX:045-864-9506	・自治会福祉委員会 ミニディサービス、サロン事業、花壇活動、喫茶室開催、病院へ の同行や買い物、家具の移動などのボランティア活動、高齢者の リハビリと親睦を兼ねた麻雀 ・健康体操	・高齢化の進行 ・少子化の進行		○									<資金> ・助成金 (自治会・社協) ・会費 ・利用料 ・参加費  ※平成22年5月設立 「飯島団地いきいきネッ トワーク連絡会」
横浜市 泉区	下和泉住 宅	・950世帯 ・昭和37年：開発時期	特定非営利 活動法人 あやめ会	〒245-0016 横浜市泉区和泉町1709-17 TEL:045-801-9548 FAX:045-801-9548	・自主運営組織「あやめ会」の設立。高齢者の移動支援としてマ イカーによる送迎。	・公共交通機関 の重要性増大 ・人口の減少 ・高齢化の進行	○	○									<実績> ・月～土 (8:00～18:00) ・20年度の送迎件数： 2,600件
	富士見が 丘地区	・3,000戸 ・6,200人	富士見が丘 福祉の会	〒245-0016 横浜市泉区和泉町1709-17 TEL:045-801-9548	・高齢者の日常生活支援、庭の手入れ、家の修理、家の掃除 ・病院送迎	・高齢化の進行 *アンケート結 果、要望の多 かったものから 実施		○									<実績> ・会員：192人 ・活動数：263回
横浜市 青葉区	青葉美し が丘中部 地区	・約47.2ha ・945戸 (H22.2) ・昭和44年：竣工時期	自治会特別 委員会「青 葉美しが丘 中部地区計 画街づくり アセス委員 会」	〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘 1丁目23番8号 美しが丘中部自治会館内 TEL:045-902-7003 FAX:045-902-7003 u-jichikai@c04.itscom.net http://home.s05.itscom.net /jichikai	・建築協定から地区計画への移行、街並みガイドラインによるま ちづくりを展開	・住宅地の環境 変化							○				<実績> ・「住まいのまちなみコ ンクール」受賞 (H17)
横浜市 都筑区	市営勝田 住宅	・1,534戸 ・2,249人 (H21年) ・昭和42年：入居開始	かちだ地区 「思いやり ネットワー ク連絡会」	〒224-0034 横浜市都筑区勝田町266-1 勝田住宅第2集会所内 TEL:045-591-2119 FAX:045-591-2119 代表：中山敏明 TEL:045-592-8574 FAX:045-592-8574	・「孤立死」を防ぐために、孤立させない地域づくり ①緊急連絡先カードの登録制 ②安心カードは自分の覚え書き ③ライト運動(安否確認) ④毎朝8:30～ 集会所横児童公園でラジオ体操開催 (H26～) →40人程度の参加者 ⑤誰もが立ち寄れる「サロンひだまり」の開設 (H21～) ⑥ちょっとしたボランティア活動(簡単な手伝い) ⑦安否確認訓練実施(2回/年)	・高齢化の進行 (10人に4人は 65歳以上の高 齢者。H19～20年 に5人の孤立死 が発生。)		○					○			<発足> ・H20.6.30 <資金> ・市補助金(～H22年度ま で) ・連合、4つの自治会よ り補助金で運営	

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考										
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等
神奈川県 横須賀市	湘南鷹取 団地	・126.8ha ・3,284戸 (H26.4) ・7,927人 (H26.4) ・昭和43～55年	福祉コミュニ ニティ 湘南たかと り福祉村	〒237-0066 横須賀市湘南鷹取5-45 U-101 伊東トモ子 代表 TEL:046-866-1524 FAX:046-866-1524 AND42452@nifty.com	・高齢者・障害者・子育て中の親・病弱の人などに対し、家事・育児・庭仕事・修理・同行サービス・他に関する生活支援サービスを有償で提供 ・町づくりの為に催しとして、福祉村ひろば（年4回）・学習会（年2回）開催 ・家事支援サービス相談会（毎月1回）開催	・高齢化の進行（高齢化率3%） ※、独居・老人世帯の増加 ※H26.4.1時点では40.8%		○								<資金> ・利用料：700円/時間 350円/30分 （活動協力費500円/時間 +事務局維持費200円） ・活動時間： 6,072時間(H25年度) ・月～金(9:00～17:00)
	粟田団地	・30ha ・1,615世帯(H21.10) ・3,913人(H21.10) ・昭和45年	助け合い粟 田	〒239-0845 横須賀市粟田1-33-7 TEL:046-848-7641 FAX:046-848-7641 松本 禮次 会長	・高齢者・障害者・子育て中の親・病弱の人などに対し、生活支援サービスの提供	・隣人との付き合いが希薄で、孤立しがちな高齢者が見られる現状を危惧した。		○								<資金> ・利用料
神奈川県 座間市	東建座間 ハイツ	・約5.3ha ・1,046戸 ・約2,300人 ・昭和52年：入居開始	東建座間ハ イツ自治会 東建座間ハ イツ連合管 理組合 東建座間ハ イツ各棟管 理組合 東建座間ハ イツ防災会 座間ハイツ ほのぼの会 (老人会)	〒252-0024 座間市入谷4-3011-18 東建座間ハイツ管理事務所 所長 祝田 肇 TEL: 046-255-8222 FAX: 046-257-6625 zama-kan@jcom.home.ne.jp 東建座間ハイツ防災会： http://bousaikai.exblog.jp	・盆踊り大会、もちつきバザール大会、敬老会など、会員相互の親睦 ・消防・防災訓練 ・防犯パトロール										<資金> ・会費	
山梨県 上野原市	コモアし おつ	・約80ha ・1,320戸(H25) ・約3,800人(H25) ・平成3年	コモアしお つ自治会	〒409-0126 山梨県上野原市コモアしお つ2-4-4	・管理組合と自治会の二つの組織により活動を実施。将来的に、組織の統合を目指している。 ・「コモアの風」という公式サイトを運営し、自治会広報や管理組合便りをはじめ、コモアの紹介やイベント情報、集会所予約などの情報提供を行う。										<資金> ・会費 自治会費 500円/月 共益費 500円/月	
<b>中部</b>																
愛知県 名古屋市	鳴子団地	・約17.5ha ・2,890戸 ・11,000人(以上計画) ・昭和37年：入居開始	NPO法人 たすけあい 名古屋	〒458-0041 名古屋市緑区鳴子町4丁目 13番地 愛知県住宅供給公社鳴子第 1住宅 代表理事 西川達夫 TEL:052-899-0833 info@tasukeainagoya.com http://www.tasukeainagoya.com	・高齢者・障害者・子供たちの生活支援ボランティア活動 ・介護保険法による居宅介護支援 ・障害者総合支援法および児童福祉法による生活援助 ・ボランティア・ドライバーによる福祉有償運送 ・名古屋市からの指定管理（天白福祉会館）	・高齢化の進行 ・少子化の進行 ・生活サービスの不足		○								<資金> ・サービス利用料 ・寄付 ・会費 ・受託 ・助成金
三重県 四日市市	羽津・垂 坂・大谷 台地区	—	NPO法人 生活バス四 日市	〒510-0012 四日市市大字羽津戊595番 地 西脇良孝 理事長 TEL:059-361-6686 FAX:059-361-6686 sbus_yokkaichi@ybb.ne.jp http://www.rosenzu.com/s bus/index.html	・コミュニティバスの運行	・公共交通機関の重要性増大 ・路線バスの廃止								○		<実績> ・利用者数： 27,313名 (H20年度) 26,510名 (H21年度) 23,671名 (H22年度) 20,441名 (H23年度) 19,105名 (H24年度) 18,873名 (H25年度)

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考											
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等	
岐阜県 多治見市	ホワイト タウン	・119.64ha ・2,539戸 ・6,761人 ・昭和56年分譲開始	ふれあい センター わきのしま	〒507-0826 多治見市脇之島町6-30-1 TEL:0572-22-6828 FAX:0572-22-6828 fureai34@ob2.aitai.ne.jp	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援「ふれあいサロン」</li> <li>・タウン内の児童遊園、バス停、駐車場の草刈・剪定</li> <li>・多治見ロードサポーター・相談事業・予防医療講座</li> <li>・絵本を楽しむ会・障がい者支援「さくらんぼ」</li> <li>・個人宅の庭木の剪定・草刈や障子、襖などの張替えなど個人では困難な作業等を請け負うハウスクエアサービス</li> <li>・「風景のふれあいづくり」では住民がホワイトタウンの風景に対する興味・愛着を深めるようなイベントを企画。「ホワイトタウンの四季・八景作品展」、「さえずりの小径」の管理、春と秋の「上を向いて歩こう会」など。</li> <li>・地域住民の参加と協力により行われる有料サービス事業の「家事支援」</li> <li>・老化防止、憩いの場として「健康麻雀教室」開催</li> <li>・買物や通院等に不便を感じている高齢者の為にボランティアによる移送支援サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行</li> <li>・住環境衰退への懸念</li> <li>・生活支援サービスの不足</li> <li>・交流機会の不足</li> </ul>		○		○		○		○		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会から地区社協としての補助金</li> <li>・自治会より委託を受け21カ所の児童遊園の植栽収入</li> <li>・ハウスクエアサービス事業の収入</li> <li>・その他事業収入</li> </ul>
近畿																	
滋賀県 甲賀市	希望ヶ丘	・100ha ・2,300戸 ・7,000人	希望ヶ丘地区安全・安心まちづくり協議会	〒520-3333 滋賀県甲賀市甲南町希望ヶ丘1-1 希望ヶ丘コミュニティセンター TEL:0748-86-0968 FAX:0748-86-0968	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯活動・児童の登下校の見守り、地域安全パトロール（青色回転灯車7台巡回）・児童の春、夏、冬休みの期間中の夜間パトロール、親子の防犯講習（夏休みに実施）・新入生の交通安全教室（自治会と共同）</li> <li>・防災活動・避難訓練（自治会と共同年1回）・消火訓練（自治会と共同年1回）・救急救命講習会（年1回）・救援マップ作成（民生委員と共同で作成）</li> <li>・住環境保全・街路樹の剪定、公園の草刈り、樹木の剪定（自治会と共同）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの見守り</li> <li>・阪神・淡路大震災の被害</li> </ul>									○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;資金&gt;</li> <li>・会費</li> <li>・助成金（自治会）</li> </ul>
			NPO法人 千里・住まいの学校	〒560-0082 豊中市新千里東町3丁目6番111号 山本 茂 代表理事 TEL:090-5092-0395 yam-chan@hkg.odn.ne.jp http://www.hnpo.comsaponet/weblog/RedirectServlet?npouURL=sss	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して楽しく住み続けるための住まいの相談</li> <li>・良好な住環境の保全・創出や、住宅・住宅地の多様な活用に向けた「まちづくり作法集」の作成、そのためのまちあるき</li> <li>・ニュータウン再生の研究・出版・講演、大学・NPO等との連携、街の案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行等を契機とする住み続け・住み替えの困難化</li> <li>・若々しさを失わず魅力ある街への再生</li> </ul>		○								○	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;資金&gt;</li> <li>・会費</li> <li>・寄付</li> <li>・助成金</li> <li>・受託</li> </ul>
			NPO法人 千里すまいを助きたい！	〒565-0813 吹田市千里丘下25-28 片岡 誠 TEL:06-6875-7459 FAX:06-6875-7461 kattan@be.mbn.or.jp http://senri-otasuke.org/	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸建住宅を定期借家方式で賃借し、同じく定期借家方式により入居希望者へ賃貸</li> <li>・住まいに関わる問題をワンストップで解決することを目的に、住まいのリフォーム支援、空き家の管理や高齢者の居住する住宅の見守り、住替えに関するアドバイスや仕組みづくり・運営を実施。</li> <li>・空き地の有効活用を促進するため、民間事業者とタイアップして新築戸建借家の供給を推進。&lt;新規事業&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進行</li> <li>・住宅地の環境変化</li> <li>・地域福祉の重要性増大</li> </ul>		○	○	○					○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;資金&gt;</li> <li>・サービス利用料</li> <li>・民間事業者からの補助</li> <li>&lt;実績&gt;</li> <li>・戸建住宅所有者の居住継続に関する調査</li> </ul>

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考										
	NT・ 団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高 齢化	空地・空 家	交流機 会	交通問 題	生活支 援	住環境 保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活 動実績等
大阪府 豊中市 ・吹田市	千里NT	・1,160ha ・37,300戸 ・150,000人 (以上、計画) ・昭和37年：入居開始	NPO法人 友, 友	〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 12番1 パークサイドビル1F 青木・山戸 TEL:06-6877-1664 FAX:06-6877-2004 介護予防住宅 TEL:06-6872-5414 info@senri-youyou.jp http://www.senri- youyou.jp/	・千里NT内の空き店舗を活用して、配食サービス、デイサービ ス、居宅介護支援等の地域福祉活動の推進 ・地域通貨「いっば」を発行し、地縁再生による支え合いの地域 づくりを推進（現在は回収のみ実施し発行はしていない） ・第1回高齢者居住安定化モデル事業入選。H22年4月より入居開 始。（提案名：「老いてからの住まい」24時間見守付の介護予防 住宅）	・空き店舗の増 加 ・高齢化の進行 ・地域福祉の重 要性増大 ・交流機会の不 足		○							○	<資金> ・サービス利用料 ・配食サービス事業の受 託（吹田市）  <実績> ・配食サービス： 38,101食(H21年度) ・地域通貨： 地域貢献会員17店舗 (H22年4月)
			吹田市都市 整備部 千里再生室	〒564-0041 吹田市泉町1-3-40 吹田市役所低層棟3階 TEL:06-6384-1231 http://www.city.suita.osaka. jp	・千里NTの再生を都市計画マスタープランに位置付け、「千里 ニュータウン再生ビジョン」を踏まえ、良好な住環境をつくるガイ ドラインとして「千里ニュータウンのまちづくり指針」及び 「住区再生プラン（案）」を策定。 ・大阪府、豊中市、吹田市及び公的賃貸住宅事業者等で千里NT 再生連絡協議会を設置し、NT再生の基本的な考え方を示し、 「千里ニュータウン再生指針」を策定。	・老朽化した住 宅の建替え ・少子・高齢化 の進行	○	○							○	
			豊中市 都市計画推 進部 千里ニュー タウン再生 推進課	〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 豊中市役所第2庁舎5階 TEL: 06-6858-2674 senrint@city.toyonaka.osaka. jp http://www.city.toyonaka.o saka.jp/top/bousai/senriny utaunsaisei/index.html	・「千里ニュータウン地区住環境保全に関する基本方針」を策定 し、建替え等の際に協力を求めるとともに、「千里ニュータウン 地区の今後の土地利用の考え方」を示し、地区計画等による土地 利用のルール化を図る。 ・「千里中央地区再整備ビジョン」を策定して、同地区の活性化 の方向性を提示し、同ビジョンにそった計画により、公的セク ターが所有する土地建物を一括取得した民間事業者による再整備 を実施（平成15～23年度） ・国土交通省が実施した「歩いて暮らせる街づくり調査」の成果 を実現する一環として、ひがしまち街角広場の立ち上げを支援。 ・大阪府、豊中市、吹田市及び公的賃貸住宅事業者等で設置した 千里ニュータウン再生連絡協議会において、千里ニュータウン再 生の基本的な考え方を示すために「千里ニュータウン再生指針」 を策定。 ・千里中央地区に関わる地権者・事業者・市民・行政が、同地区 の一層の活性化に向けて、北部大阪の都市拠点にふさわしい都市 機能の集積とシンボルづくりや、中央地区センターとしての機能 充実等についてまちづくりの方向性を示し共有するため、「千里 中央地区活性化ビジョン」を策定。	・人口減少と、 急激な高齢化・ 少子化の進行 ・住宅や施設の 老朽化と、それ に伴う建て替え 問題の発生 ・住民のライフ スタイルの変化 と、ニーズの多 様化 ・バリアフリー への対応	○	○								○
大阪府 茨木市	彩都	・約742.6ha ・50,000人（計画） ・2004年：まちびら き	一般社団法 人コミュニ ティ彩都	〒530-0017 大阪市北区角田町1-1 阪急不動産株式会社内 TEL:06-6313-3110 http://www.c3110.or.jp/	・彩都住民専用の地域ポータルサイト「彩都NAVI」の運営 ・「彩都スタイルクラブ提携共用施設」を利用した各種教室・イ ベントの開催 ・自動車共同利用システムの運営 ・コンシェルジュによるサービス提供窓口「彩都サービスフロン ト」の運営 ・棚田ファーマークラブ事業 等	・生活サービ スの不足 ・交流機会の創 出 ・暮らしに関す る地域情報の不 足									○	<資金> ・年会費： 彩都スタイルクラブ会費 ：一般会員 (700円/月) ：一括加入会員 (500円/月)

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考												
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等		
大阪府 交野市	コモンシ ティ星田 B1ゾー ン	・約4.6ha ・169戸（H18年） ・528人（H18年） ・1995年5月	コモンシ ティ星田西3 丁目住宅地 区建築協定 運営委員 会・同街並 み保全委員 会	〒576-0015 大阪府交野市星田西3-1-7 専門委員 鈴木映男 TEL:072-892-5060 suzuki_okhn@iris.eonet.ne.jp	・建築協定と任意協定である街並み協定の運営を行い、協定遵守 状況のチェックや清掃等を通じた街並みの美化活動	・住環境の保全										○	<資金> ・運営費： 2,000円/年・戸	
兵庫県 神戸市	ガーデ ンシ ティ舞 多聞	・約108.4ha ・約2,600戸（計画） ・約8,400人（計画）	舞多聞み つけ自治会		・組織統合の実施（H26.5） （協定運営委員会・地中化運営委員会・みつつけコミュニティの統 合） ・協定の事前審査 等 ・協定更新に向けた取組（H28.2）	・住環境の保全 ・交流機会の創 出											○	<資金> ・月会費： 協定運営委員会 （300円） 地中化運営委員会 （700円） ・H18年度県民まちなみ 緑化事業
	井吹台東 町・北町 （西神南 NT）	・9,998世帯 ・27,071人 （26年7月末現在） 平成5年入居開始	井吹東ふれ あいのまち づくり協議 会	〒651-2242 神戸市西区井吹台東町 4丁目21-2 TEL:078-996-3569 fure_ibuki@maia.eonet.ne.jp	・福祉センターの管理運営 ・地域福祉活動の企画及び実施 ・児童館運営民間委託を受ける（平成17年4月） ・ボランティアをした時間を貯金し、必要となった時に時間を引き 出すことができる制度「井吹ふくし銀行」の立ち上げ（平成21 年5月） ・放課後こども広場運営	テレクラ反対運 動											○	<資金> ・利用料 ・ふくし銀行年会費 （1,000円/年）
	井吹台自 治会連合 会		井吹台自 治会連合 会	〒651-2242 神戸市西区井吹台東町 1丁目20-7 坂本 津留代 TEL:078-992-7533	・いぶきの森を歩こう 健康ウォークラリー ・災害時避難者登録制度（1500世帯登録26年9月現在）24年より 登録開始 ・福祉避難訓練（平成21年1月より開始）	テレクラ反対運 動											○	
	北須磨団 地	・2,100戸(平成17年) ・2,679世帯 （平成17年） ・昭和42年：入居開始	北須磨団地 自治会	〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目 275 TEL:078-792-3917 西内 自治会長	・防災・福祉コミュニティ活動 ・防災訓練 ・地区の現状（危険度）把握 ・地域のパトロール ・神戸市とパートナーシップ協定 ・神戸市とまちづくり協議会協定													
兵庫県 神戸市 ・明石市	明舞団地	・約197ha ・10,781世帯 ・21,412人 （以上、H22国調） ・昭和39年：入居開始	兵庫県県土 整備部 住宅建築局 住宅政策課 住宅政策班 （明舞団地再 生担当）	〒650-0011 神戸市中央区下山手通5- 10-1 TEL:078-341-7711 （4845） FAX:078-362-9458 http://support.hyogo- jkc.or.jp/m/	明舞団地再生計画の策定 明舞団地再生計画に基づく施策の推進 ・明舞団地再生計画への反映を目的とした明舞まちづくりワー クショップの開催 ・明舞まちづくりサポーター会議の結成 ・明舞まちづくり広場の開設 ・明舞まちなカラボの開設 ・明舞まちづくり委員会の結成 ・40周年記念事業の開催（まち歩き、公開講座、シンポジウム） ・明舞団地景観デザインコードの策定 ・住民意識アンケートの実施 ・地域団体間の交流促進 ・地域住民による地域サービス組織明舞お助け隊の結成支援 ・NPO誘致 ・地域再生計画に基づく県営住宅の目的外使用 ・福祉のまちづくり点検事業	・将来像の欠如 ・高齢化の進行 ・住宅の老朽化											○	<資金> ・調査補助金（県） ・助成金（県）

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	取組みの きっかけとなっ た課題	備考										活動資金の確保方策、活 動実績等
	NT・ 団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先			人口減少	少子・高 齢化	空地・空 家	交流機 会	交通問 題	生活支 援	住環境 保全	防犯	その他		
			明舞まちづ くり委員会	〒650-0011 神戸市中央区下山手通5- 10-1 兵庫県土整備部 住宅建築局住宅政策課 明舞団地再生係 TEL:078-341-7711 (4845) FAX:078-362-9458 http://support.hyogo- jkc.or.jp/m/	・地域と行政が一体となって地域主体の再生への取り組みを検討 する											○	<資金> ・運営費(県)
兵庫県 西宮市	西宮名塩 ニュータ ウン	・2,434世帯(H25) ・6,912人(H25) ・平成3年：街びらき	東山台地域 自治協議会	〒669-1133 兵庫県西宮市東山台1- 106-2ナシオンホール内 福田 勝(会長) TEL: 0797-61-3615 FAX: 0797-62-9117 nashion_hall@kvp.biglobe.ne.j p	・19自治会と6地域団体による、まちづくり協議と協働 ・行政事業についての連絡・調整と連携・協働 ・コミュニティ会館の管理運営 ・多世代住民交流活動：東山台サマーフェスティバル開催 (平成26年度で第17回) ・地域福祉推進活動と留守家庭児童育成センター運営への参画 (社会福祉協議会東山台分区分) ・地域のスポーツ振興活動(スポーツクラブ21東山台) ・高齢者の交流活動と社会貢献活動(東山台老人クラブ連合会) ・残置林の里山保全活動(ナシオン創造の森育成会) ・子育て支援活動と障害者通所支援活動 (社会福祉法人ほっとスマイル)											○	<資金>平成25年度概略 ・年会費、会館管理費、 フェスティバル拠出金 128万円 ・会館使用料収入 62万 円 ・西宮市委託事業受託金 収入 79万円 ・印刷機使用料収入 7 万円  <実績> ・平成26年8月2日フェ スティバル来場者推定3 千人 ・平成20年度西宮市まち づくり賞受賞
兵庫県 宝塚市	雲雀丘山 手地区	・約21.4ha ・約430区画 ・大正4年：開発時期	雲雀丘山手 緑化推進委 員会	〒665-0804 宝塚市雲雀丘山手1-13-24 篠原 悌三 mtn-v@jtk.zaq.ne.jp http://www.geocities.jp/ya mate_ryokka/	・当委員会の前身(地区計画等推進委員会)が地区計画及び景観 条例に基づく「まちづくりルール」を策定。 ・公園・空地への樹木植栽、桜並木の復活、緑の勉強会の開催、 かわら版の配布等 ・「まちづくりルール」策定後の地区の花と緑の変容レベルを観 察しながら、理念である「私地公景」(私有地であってもその景 色は公のもの)に加えて、「市地公景」(自分たちが育てた花の タネを住民に配布して行う「山手全体花いっぱい運動」)をスター ト。 ・その推進母体として自治会直轄の「山手公園花守の会」を創 り、年2回「山手公園花のタネ」を配布中。将来的には「園芸療 法」にも取り組みたい。											○	<資金> ・助成金 等

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考										
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他	活動資金の確保方策、活動実績等
兵庫県 川西市	けやき坂	—	けやき坂まちづくり協議会	〒666-0145 川西市けやき坂1丁目3-5 津田 武司 TEL:072-799-1211 FAX: 072-799-1211 t.tsuda@ares.eonet.ne.jp	・県民まちなみ緑化事業の補助を受け、まちなみ緑化に努めるとともに、「更なる安心・安全でホットする街づくり」を進めている。 ・当地区の建築協定が期限切れ（20年）となったことがきっかけ。 ・第1期地区での地区計画の策定や、第2期地区での地区計画策定委員会（仮称）の立上げ、「更なる安心・安全なホットする街づくり」を進めている。											<資金> ・助成金
	多田グリーンハイツ	・222.4ha ・15,552人(平成17年) ・6,030世帯 (平成17年) ・昭和41年：分譲開始	溪のサクラを守る会	〒666-0116 川西市水明台3-3-24 西澤 孟治 TEL:072-792-8861	・多田グリーンハイツと清和台との間にある市所有の自然緑地に群生するエドヒガンザクラ(絶滅危惧種)を保護する											<資金> ・会費 ・助成金
			認可地縁団体 多田グリーンハイツ自治会	〒666-0129 川西市緑台4丁目8-39 第1自治会館内 事務局 TEL:072-793-0810 FAX:072-793-7667 gh-jiti@sky.hi-ho.ne.jp http://www.sky.hi-ho.ne.jp/green-h/	・公園や周辺道路の清掃 ・安全パトロール、児童見守り活動 ・高齢者を対象とした、福祉バスツアー ・広報誌の配布 など ・災害時要援護者支援制度 ・高齢者・障害者等ゴミサポート収集 ・自主総合防災訓練	・人口の急増 ・学校の増設									○	<資金> ・会費 ・助成金 ・利用料
大和団地	・4,762戸 ・11,123人 (H26年11月)	大和の夢かなえたい実行委員会	〒666-0112 川西市大和西4-1-1 八木下 榮一 TEL:072-794-0375 FAX:072-794-0906 http://www.daiwajichikai.com/ メールアドレス： EZV03375@nifty.com	・大和夢ナリエの開催 身近な公園、駅前に電飾（シンボルツリー・ウェルカムアーチ）を点灯。 冬の風物詩である大和夢ナリエは、少子高齢化の大和に輝くイルミネーションの灯に人との出逢い、親、子、孫の三世代の絆づくり、地域内グループの参加交流、美しい安全・安心なまちづくりとして開催。 (点灯期間12月20日～翌年1月17日まで)	・H12年商店会、花一門芽により公園に電飾を行っていたものをH17年より実行委員会が発足、現在に至る									○	○	<資金> ・助成金 ・募金
兵庫県 三田市	アルカディア21	・約1.36ha ・21戸 ・21世帯 ・1988年	アルカディア21管理組合	〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘1丁目4番地18 小山 正実 TEL 079-501-5551 FAX 079-501-5551 bagfs104@jttk.zaq.ne.jp	・1988年に管理組合を結成し、地区住民が愛着と誇りをもって住み続けられる街とするための維持管理活動を開始した。 ・街区中央の公園を含め、街区全体の年間管理計画を作成し維持管理活動を行ってきた。年1回の総会においてその期の管理状況の報告と意見交換を行い、次期の計画に反映している。 ・平成20年度の「住まいのまちなみコンクール」において「住まいのまちなみ優秀賞」を受賞したことを契機に委員会を設置し活動中である。	・住民の高齢化 ・維持管理方法の見直し ・街区内樹木の樹勢回復	○	○		○						<資金> 住民よりの管理費 「住まいのまちなみコンクール」受賞（H20）
奈良県 奈良市	オーナーズヒル奈良青山	・2.98ha ・98戸 ・まちびらき 1992年	オーナーズヒル奈良青山管理組合法人	管理会社： 近鉄住宅管理（株） 担当 山中 0742-23-9001	・建築協定失効（平成24年8月）後の住環境維持 過去、まちづくりルールブックも策定し（平成22年）、住人の良識をベースに環境維持 ・共用地植栽管理、清掃の業者委託および、年2回の住民による雑草除去・清掃 ・防犯、防災対策 ・高齢化世帯での課題対応サポート ・管理組合による自治活動と近隣自治会との連携	・建築協定期限 ・ルール違反（認知不足） ・高齢化										<資金> ・管理組合費 ¥5,200 (一戸あたり月額) ・すまいのまちなみ賞 賞金を活用しルールブック策定 「住まいのまちなみコンクール」受賞（H19）

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	取組みの きっかけとなっ た課題	備考										活動資金の確保方策、活 動実績等
	NT・ 団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先			人口減少	少子・高 齢化	空地・空 家	交流機 会	交通問 題	生活支 援	住環境 保全	防犯	その他		
中国・四国																	
島根県 松江市	瀬北台団 地	・621世帯（H20） ・昭和42年：分譲開始	瀬北台自治 会 （瀬北台団 地まちづく り委員会）	〒690-0868 松江市瀬北台8-21 TEL:0852-23-7916	・ふれあい喫茶を交流会館で開催 毎月20日AM10～PM1 女性ボランティアグループが担当 住民の出会い、ふれあい、語り 合いの場として開催、費用は参加者が実費負担 ・毎月第1・第3日曜日AM9～AM10 朝市の開催 ・緊急通報システムを高年齢者に設置	・高齢化の進行 ・交流機会の不 足		○		○						<資金> ・サービス利用料 ・推進調査助成金 （H20年度）	
岡山県 倉敷市	西坂台団 地 生坂ハイ ツ 菅生団地	・約1,000戸 ・約3,000人	NPO法人 地域の公共 交通を守る 会	〒710-0004 倉敷市西坂1342-348 丹生 朴（にぶすなお） TEL:086-463-6009 FAX:086-463-6009	・地域の交通弱者に対して“公共交通の手段”の継続的な運営 や、地域の環境の保存活動 など	・路線バスの廃 止								○		<資金> ・会費 ・助成金（倉敷市） <実績> ・予約型乗合タクシーの 運行 ・年間利用者： 約5,000人(H21年度)	
広島市 佐伯区	東観音台 団地	・1,100戸 ・3,390人 ・平成元年	東観音台連 合会	〒731-5157 広島市佐伯区観音台2丁目 12-23 会長：矢田 直樹 http://kannondai.com	①団地内のスーパー撤退、バスの減便への対策 ・買い物バスの運行(H21年2～H22年4月) 路線バス経路変更で 終了 ・青空市（H21年1月～H23年5月）その後と～かんカフェに移 行（毎月第1日曜日） ②有価資源売却益資金の活用プロジェクト ・花見会、カウントダウン、夕涼み会、カフェ、落語会、歌声喫 茶等 ③女子会、男子会で若返り（30～50歳代の参加15名） ④秋祭りに高校生の参加：50～60名が神輿担ぎ、高校の文化祭に 餅つきで参加 ⑤と～かん連合会スタッフは町内会役員経験者等が45名自主参加 （町内会役員の負担軽減が理解されている）	・公共交通機関 の減便や運行路 線の廃止 ・町内会役員の 一年交代 ・担い手の育成								○	<資金> ・町内会の事業委託費 ・寄付金 ・有価資源売却益の自主 財源 <活動> ・青空市、花見会、音楽 会、ビアガーデン等、新 事業の開催 ・受託事業は町内会より 予算確保 ・有価資源売却収益金で 自主事業を実施 ・自主事業は試行錯誤を 前提とし、開始や終了は 自主判断で決定		
広島県 山県郡	北広島町 （明神ハ イツ）	・約9ha ・52戸 ・120人 ・昭和49年：開発時期	明神自治会		・自治会でのイベント及び役員選任等に伴う、自治会規約や集 会所維持管理規約の作成が活動のきっかけ。 ・上水道や防犯灯の維持管理、廃棄物の搬入防止対策等について 行政への働きかけを行っている。 ・小学生児童の登下校時にバス停（バス通学のため）までの送迎 見送り、独居老人への声掛け、懇話会への出席のすすめ及び社会 福祉協議会を招いて老後に備えての心構え等々の行事を進め、団 地の活性化を図っている。	・高齢化の進行 ・空地の増加 ・空家の増加		○	○							<資金> ・会費 ・利用料	
	北広島町 （都志見 団地）	・0.17ha ・52戸（H22） ・108人（H22） ・昭和51年9月	地縁団体 都 志見団地会	〒731-1712 広島県山県郡北広島町都志 見2668-243 代表	・民間開発業者が完成間際に倒産したことから、私道や上下水道 の町管理への編入を目指して活動中。 ・私道についてはH22.9に町へ移管済み。	・高齢化の進行		○					○	○	○	<資金> ・会費 ・利用料	



所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考									
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みの きっかけとなっ た課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全	防犯	その他
九州・沖縄															
福岡県北九州市	高見三条地区	—	高見三条町会 高見三条建築協定運営委員会 高見三条緑地協定運営委員会 高見三条街並み協定運営委員会 高見三条共有物管理組合	〒805-0071 北九州市八幡東区東田1丁目5番3号 テレコムセンター2号館	・街並みウォッチングの実施 など										<資金> ・自治会費 (4,800円/年) ・街並み協定負担金 (24,000円/年) ※ ※平成26年4月より
福岡県福岡市	シーサイド百道戸建地区	・約5.84 ha ・206戸 ・1989年4月 発足	百道浜4丁目戸建地区町内会	〒814-0001 福岡市早良区百道浜4-18-2 TEL 092-846-4381 FAX 092-846-4387	・地区住民は重層的に構成されており、町内会を中心に、日々の生活は町内会、まちなみづくりは建築協定および緑地協定の運営委員会に、共有地の管理は共有施設管理組合の活動として行われている。							○			<資金> 会費 「住まいのまちなみコンクール」受賞 (H21)
福岡県糟屋郡新宮町	コモンライフ新宮浜団地	・4.2ha ・82戸 ・昭和59年	コモンライフ新宮浜団地自治会	〒811-0112 福岡県糟屋郡新宮町下府7-7-18 加藤 武弘 TEL:092-963-0361 FAX:092-963-0361 katou77@hya.bbiq.jp	・自治会活動として下府二区の一斉清掃に合わせて年2回、団地内公共緑地の草取り清掃活動をおこなっている。 ・また生垣と敷地内松の消毒を自治会費用で年2回おこなっている。 ・建築協定、緑化協定の運営も当初よりおこなっている。 ・また平成22年度よりまちづくり景観委員会を立上げ、団地景観に係わる議題を協議している。平成25年度より景観委員会活動を建築協定、緑化協定運営委員会に移管した。 ・その他に隣接する松林の間伐保全作業をボランティア団体「筑前新宮の白砂青松を守る会」に協同して参加、団地に隣接する緑の環境保全に努めている。 ・隣接する西鉄宮地岳線跡地の公共の利用を求めて町や西鉄に要望してきたが、実現できずに宅地開発されたが、一部を公園化することができた。そのことが一定の新宮浜の景観を守る活動に寄与したと考えている。	・平成21年から隣接する西鉄宮地岳線跡地の宅地開発問題に対し団地の景観を破壊する開発であるとして自治会として町や西鉄に対して反対運動を展開したが、平成24年度に終息した。						○		自治会入会金30,000円/戸、松基金60,000円/戸、自治会費4,800円/戸・年 自治会が所属する下府二区に対する区費7,200円/戸・年 「住まいのまちなみコンクール」受賞 (H21)	

所在市	エリア		活動組織		活動の内容	備考								活動資金の確保方策、活動実績等		
	NT・団地名	・エリア面積 ・戸数 ・人口 ・まちびらき時期	主体名	連絡先		取組みのきっかけとなった課題	人口減少	少子・高齢化	空地・空家	交流機会	交通問題	生活支援	住環境保全		防犯	その他
大分県 大分市	明野地区	・約25,000人	新日鉄興和 不動産㈱ 九州支店	〒870-0913 大分市松原町3-1-11 鉄鋼ビル2F 開発企画部 担当 姫野 TEL:097-558-8697 FAX:097-558-8709	・緑地協定と街並みルールの設定	・住環境の保全								○		<資金> ・推進調査助成金 (H20年度)
	明野地区 及びパーク プレイ ス大分公 園通り地 区	<パークプレイ ス大分公園通り> ・約1,202戸(計画) ・約3,000人(H13.9) <明野地区> ・約9,000世帯 ・約25,000人	明野・パー クプレイ ス街づくり協 議会	〒870-0173 大分県大分市公園通り3- 1-2 福岡地所㈱大分支店 担当 是松 TEL:097-524-6981 FAX:097-520-5771 korematsu@parkplace- oita.com http://live.parkplace- oita.com/	・明野地区(約700世帯)及び公園通り地区(約900世帯)にお けるエリアマネジメント推進実績に基づいた広域型エリアマネジ メントの展開方策案の抽出 ・両地区居住者の生活実態調査による展開方策案の検証 ・展開具体案の抽出及びサービスメニューの絞り込み、展開具体案 の制度研究、ビジネスとしての導入可能性の検討	・再生主体の不 在								○		<資金> ・推進調査助成金 (H21年度)
沖縄県 浦添市	浦添NT	・2,215人(昭和49年) ・863世帯(昭和49年)	浦添ニュー タウン自治 会	〒901-2114 浦添市安波茶1-13-9 松田 進 自治会長 TEL:098-877-7636	・夜間パトロール ・敬老会 ・町内美化清掃作業 など	・独居老人の見 守り隊の編成		○								<資金> ・会費(12,000円/年)